

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)学校法人追手門学院 総持	階数	地上6F
建設地	大阪府茨木市太田東芝町	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	4,000 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,000 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年10月 予定	評価の実施日	2022年8月24日
敷地面積	21,317 m ²	作成者	後藤 純平
建築面積	10,289 m ²	確認日	2022年8月24日
延床面積	44,856 m ²	確認者	長谷川 豪



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 93%

③上記+②以外の 93%

④上記+ 93%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.0

音環境	3.7
温熱環境	2.4
光・視環境	2.6
空気質環境	3.8

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1

機能性	3.4
耐用性	2.9
対応性	2.9

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.8

生物環境	3.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.1

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	2.4
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.5

水資源	3.4
非再生材料の	3.6
汚染物質	3.3

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1

地球温暖化	3.2
地域環境	3.3
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他
茨木市に建設される大学施設の計画である。屋上緑化に努め、敷地内環境に配慮している。室内環境では特に遮音性能など音環境に配慮した計画としている。	特になし
Q1 室内環境 教室の床、天井の2面に吸音材を使用し、界壁・界床遮音性能を高く設計し、室内の音環境に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 屋上緑化に努め、生物環境に配慮している。
LR1 エネルギー 高効率設備を採用し、省エネルギーに配慮している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率の削減に配慮した。
Q2 サービス性能 壁面、床面には防汚性の高い材料を採用するなど、維持管理に配慮している。	
LR2 資源・マテリアル 再利用可能部材としてOAフロアを採用し、省資源に配慮している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R4-0066

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)学校法人追手門学院 総持寺キャンパスⅡ期計画					
	建設地	大阪府茨木市太田東芝町					
	用途/区分	学校(大学等)					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					3	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					5	
④	エネルギー削減					2	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.2	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	2.4	2
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		